

関係各位

国立大学法人東京学芸大学長
國 分 充
(公印省略)

附属学校教員の公募について

拝啓 時下益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、このたび、本学では下記の要領で附属学校教員を公募いたします。

本学の附属学校は、公立の学校と同様な教育を行うほか、教員養成を目的とする大学の附属学校として、教育の理論と実践に関する研究・実証及び学生の教育実習の指導にあたる使命を持ち、取り組んでいます。この趣旨を十分ご理解の上、応募して下さるようお願い申し上げます。当該校の概要は、ホームページで紹介しておりますのでご覧ください。

なお、本学では附属学校間の人事異動・交流を推進しているとともに、東京都教育委員会、横浜市教育委員会、杉並区教育委員会、さいたま市教育委員会及び5国立大学法人（筑波大学、お茶の水女子大学、東京大学、東京藝術大学、広島大学）との間で、人事交流協定を締結しております。この点につきましても、ご承知おきます。

敬具

記

1. 勤務校	東京学芸大学附属国際中等教育学校
2. 公募教員の職名	教諭
3. 募集人員及び教科	1名（社会科／地理歴史・公民科）
4. 採用時期	令和5年4月1日付
5. 任期	なし
6. 給与	本学規則による。
7. 応募期限	令和4年12月2日（金）必着
8. 応募条件	<ul style="list-style-type: none"> ① 中学校社会科及び高等学校地理歴史科・公民科の教員免許状を有すること。 (取得見込みの場合は、別途事前に問い合わせること) ② 社会科/地理歴史科・公民科の教育実践及び教育研究の遂行に意欲があること。 ③ 国際バカロレア教育についての理解と関心があり、教育実践に意欲があること。 ④ 一般生徒及び帰国生徒・外国籍生徒に対する教育実践・教育研究の遂行に意欲があること。 ⑤ 中学校および高等学校の社会科/地理歴史科・公民科の授業が担当できること。特に世界史及びDP歴史の授業が担当できること。 ⑥ IB主催のDP歴史のワークショップ修了者またはDP教員養成プログラムを修了（修了見込み）していること。 ⑦ 専任教員として中学校あるいは高等学校の経験があることが望ましい。 ⑧ 総合的な学習の時間・課題研究などの指導経験があることが望ましい。
9. 提出書類	<ul style="list-style-type: none"> ① 履歴書（市販のもので可。氏名は自筆、写真貼付およびメールアドレスを記載のこと） ② 教員免許状（写）（取得見込みの場合は、取得見込み証明書） ※ 免許更新手続きをされた方は有効期間更新証明書（写）又は更新講習修了確認証明書（写）もご提出ください。 ③ 教育研究活動の記録（研究論文・実践研究報告書・指導案等） そのうち主なもの3点については、<u>原本又は写に200字程度の要旨（又は概要）を添付</u> ④ 小論文 テーマ「これからの国際社会における社会科教育のあり方」1000字～2000字程度 小論文の内容の中には、本校（東京学芸大学附属国際中等教育学校）において力を入れて取り組みたい社会科教育について記述すること。
10. 選考方法	書類審査の上、面接、模擬授業（授業観察を含む。）等により総合的に選考します。なお、選考においては、男女共同参画社会基本法（平成11年法律第78号）の精神を尊重し、公平な選考を行うとともに、積極的に女性を採用します。

	※ 専任としての教職経験がない方（期限付の任用は専任に含めない。）には、上記による選考の他、筆記試験（教職教養、専門科目）を実施します。
11. 面接予定日時	令和4年12月予定 （詳細は追って本人に通知します。交通費等は本人負担です。）
12. 選考決定	東京学芸大学附属学校運営会議において、選考・決定します。
13. 応募書類送付先	〒178-0063 東京都練馬区東大泉5-22-1 東京学芸大学附属国際中等教育学校長宛 （「教員応募書類在中（社会）」と封筒に朱書きし、書留郵便で送付して下さい。）
14. 問合せ先	東京学芸大学附属国際中等教育学校 副校長 雨宮 真一・坂井 英夫 電話 03-5905-1326 FAX 03-5905-0317
15. ホームページアドレス	https://www.iss.oizumi.u-gakugei.ac.jp/
16. 備考	本校の定年は60歳です。